

パブリックサービス研究分科会 夏期研究合宿
グループ研究活動「学生対応・利用者サービス」

日時：2007年9月3日（月）～5日（水）

場所：文化軽井沢山荘

記録：水野

参加者：佐藤庸子（関東学院大学）、大川龍太郎（成城大学）、坂下明子（創価大学）、
水野里永子（文化女子大学）、杉田典子（東海大学）、塚本明（東洋大学）

内容

7月例会で研究テーマを「入館者数の増減からみた今後の図書館像」とした。

「日本の図書館（日本図書館協会）」1997年～2006年を用い、その中から学生数、入館者数、貸出数、年間開館日数等の項目について参加館の調査を行なった。また、1997～2002年の入館者数（日本の図書館に1997-2002年は項目がなかったため）、入館者を増やすために工夫されたガイダンスやイベント等実施しているものがあるか各大学にアンケート調査を実施した。

統計の中で気になった点を会員に聞き、わかる範囲で回答をもらった。調査結果から入館者数増減の理由について話し合った。

12月の報告大会に向け、これからの大学図書館として入館者を増やすにはどのようなサービスを行っていったらいいのかを研究のまとめとして考えていくこととなった。